

第7回UNWTOガストロノミーツーリズム世界フォーラム
人と地球のためのガストロノミーツーリズム：革新し、活躍を推進して、維持する

奈良県，日本
2022年12月12日～15日

コンセプトノート

1. 背景 (Background)

- ▶ 依然として猛威を振るう新型コロナウイルス感染症の影響により世界の観光は低迷しており、観光産業は未曾有の危機に直面している。2020年と2021年においては国際観光客到着数が70%以上減少した。しかし、渡航制限を解除あるいは緩和する国の増加や、旅行に対する繰越需要の顕在化により、2022年は予想よりも堅調な回復が見込まれている。
- ▶ この新たな感染症の蔓延は、観光事業者に限らず、観光関連事業に従事している多くの人々の暮らしや雇用にも非常に大きな影響を与えた。観光産業の回復支援策の分析において UNWTO は、観光が人々の生活を支えている地域の支援のみならず、企業、とりわけ中小企業の回復を優先的に進めていくことを明言している。
- ▶ 我々はこの苦境に打ち勝ち乗り越え、世界の観光を回復させ、そして未来を切り開いていかなければならない。切り開く未来は、大きく様変わりしたトレンド、とりわけデジタル化や、旅行者と受入側の結びつき、インクルージョン(受容)、および気候変動への適応に対応し、世界各地からの訪問者が訪問先の人々と出会い交流を深め、互いに豊かさを感じられる、より持続可能な観光振興モデルを実現していくものでなくてはならない。
- ▶ 2021年10月31日～11月2日にベルギー・ブルージュで開催された第6回世界フォーラムでは、「ガストロノミーツーリズム：地方観光と地域振興の推進」というテーマが掲げられ、社会的・経済的統合におけるガストロノミーツーリズムの貢献に焦点が当てられた。また、雇用創出・地域統合・持続可能な開発におけるガストロノミーツーリズムの潜在的可能性についても議論が交わされた。ガストロノミーツーリズムに関する優良事例や新たなアイデアの共有は、ツーリズムの回復につながるイノベーションの前進に大きな役割を果たした。
- ▶ この困難な時代からの脱却と変革を目指す上での次なるステップとして、奈良で開催される第7回UNWTOガストロノミーツーリズム世界フォーラムでは、持続可能な社会、次世代・女性の活躍の推進、人材育成におけるガストロノミーツーリズムの役割に着目し、「旅行者・観光客の経験を豊かなものとし、訪問地の住民・文化・歴史・自然・遺産との繋がりを創出する“力”」について議論する。

2. 開催目的およびトピック (Objectives and Topics)

- ガストロノミーは地域の生活を体験するためには欠かせないものであり、歴史、文化、伝統、経済、地域社会により構築されている。また、ガストロノミーツーリズムには、観光客の体験を豊かにし、地域との直接的なつながりを確立する潜在的な可能性が秘められている。
- 現在、観光全般におけるトレンドや旅行者の既存価値観は、新型コロナの感染拡大により激変しており、今後旅行者は、訪問する地域やその土地の文化に対して、旅行者としての責任（レスポンシビリティ）を全うすることがこれまで以上に求められていくものと考えられる。
- このような状況下において、記憶に残る旅行体験を創出し、観光地の発展を促すガストロノミーの力は新たな機会を切り開く。バスク・カリナリー・センター（BCC）との連携のもと開催される奈良県での世界フォーラムでは、以下の点におけるガストロノミーツーリズムの役割に焦点を当てる。
 - 1) 女性と若者の活躍促進
 - 2) 文化交流とオーセンティシティ（本物）の推進：その土地のルーツとつながり、自然や文化に敬意を払い、健康と幸福を促進する
 - 3) 観光地および生産者の価値向上
 - 4) ガストロノミーツーリズムを通じた観光地のブランディングと発展
 - 5) 観光における食品ロス削減に関するグローバルロードマップの支持
- 第7回ガストロノミーツーリズム世界フォーラムの開催地奈良は、千数百年にわたる多彩な日本の食の原点で、現在まで続く日本の歴史や文化と深いつながりを持つ有数の地である。このような奈良で開催される世界フォーラムは、あらゆるステークスホルダーが一堂に会し、ガストロノミーツーリズムが持つ力について以下の観点から議論を交わす絶好の機会である。
 - 心身の健康および幸福への寄与
 - 人材の教育・育成および観光セクター発展への寄与
 - 地域振興、インクルージョン（受容）およびサステナビリティ（持続可能性）への寄与
- 第7回ガストロノミーツーリズム世界フォーラムは、参加者が共に観光と食の未来を切り開く場であり、これまで日本各地および奈良で、人々が先人から代々受け継いできた「歴史、文化、伝統、持続可能な日々の取組」を「希望・願い・想い・行動」に変えていくすばらしい機会となる。

3. 参加者 (Participants)

- ・ 国内外のガストロノミーおよび観光分野の専門家、トップシェフ
- ・ UNWTO加盟国の観光省庁および観光機関
- ・ UNWTO賛助加盟員
- ・ 国際・地域団体および機関
- ・ 地域および地方のDMO
- ・ 旅行およびガストロノミー関連団体、旅行会社、宿泊・輸送、サービス提供会社
- ・ ガストロノミーツーリズムおよびグリーンツーリズム、アグリツーリズム、エコツーリズムに関連する団体および機関
- ・ 観光およびガストロノミー分野の学術機関（大学・研究施設）